

商工費
 合同企業説明会実施事業について、合同企業説明会の開催時期や方法を見直し、参加者を増やす工夫が必要であるとの意見がありました。

民生費
 就学前の発達障害児療育訓練事業について、療育訓練開始までの待機期間解消に向けた取り組みをより一層強化してほしいとの意見がありました。
 また、高齢者生活移動支援事業については、事業の目的を理解してもらうためにもしっかりと広報活動に努めてもらいたい。さらに、運転免許証を自主返納された人だけでなく、更新を行わず失効された人にも補助すべきではないのか。また、1年間の補助ではなく、継続した制度になるよう取り組んでほしいとの意見がありました。

審査の過程で、次のような意見がありました。

令和5年度多久市一般会計予算

予算特別委員会 審査報告



▲教育支援センター「怒るーむ」

教育費
 教育支援センター「怒るーむ」について、不登校の児童生徒や入所者の増加が見込まれるなか、今後を見据えた施設の規模や場所、支援員などについての検討が必要ではないかとの意見がありました。
 本議案は、慎重に審査した結果、全会一致で原案どおり可決すべきものと決定しました。

消防費
 防災行政無線について、難聴地区の解消に向けた伝達手段の向上に努めてほしいとの意見がありました。



▲合同企業説明会

議案質疑

※発言の一部を抜粋して掲載

田淵 厚

■人・農地地域計画策定推進緊急対策事業について

Q 今までの人・農地プランとの違いは何か。

A 10年後の農地の受け手が誰になるのか、農地利用の姿を明確にした目標地図を作成することが違いです。

Q 市や農業委員会の役割は何か、また、国は全農地の面積の担い手が利用する割合の増加を令和5年までに8割となっているができるのか。

A 農業委員会は出し手・受け手の意向を踏まえ目標地図の素案を作成、多久市は策定に向けた地域での協議、課題の整理、地域計画の素案を作成します。

策定には関係者、関係機関が協力、連携し取り組むことが重要と考えます。

国の集積率には令和3年度末は58.9%、多久市では、令和5年2月末で48.2%と、目標には程遠い集積率となっています。



A JRや市商工会、県立図書館、県内公立図書館などとの連携も行っていきたいと思っています。

■グリーンパークについて

Q 市の体育施設の利用料は市内利用者と市外利用者では値段が違い、市外利用者は倍の値段になっている。しかし、グリーンパークの使用料は同一になっている。この料金は弓道場に関連して公平性、公正性は確保したとある。また、算定方式は統一した基準は策定されたのか。

A 使用料を同一に設定したのは、市内市外からの利用を促進し交流人口の増加と地域の活性化につなげるためです。多久市の統一した算定方式については、現在検討中です。

Q 利用者増加は市内義務教育学校3校の球技大会や保育園など交えた大会の検討、チケットやポイント制などは考えているのか。

A 各種大会開催については、義務教育学校の他、各団体に働きかけを行い、利用者増加に向けたチケットやポイント制度については、利用状況を見ながら検討を行っていきます。



■図書館創立100周年記念事業について

Q 図書館100周年記念事業は写真家「田川清美氏」パネル展とギャラリートーク、記念式典で「滝口康彦氏」生誕企画で映画「一命」を上映とある。この他、多久市出身で画家「池田学氏」、多久市に住んでいたサザエさんの「長谷川町子氏」のことなどを紹介して多久市をPRしてほしい。

A 田川氏・滝口氏以外の長谷川町子氏や池田学氏などのPRにつきましても検討しながら行っていきます。

Q こうした4つのイベントは他の事業者との連携はあるのか。例えばJRとか昭和バスとか、県立図書館、他の市町の図書館の連携を含めてお聞きします。



鷲崎 義彦

■多久市放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

Q 既存の条例に追加される安全計画と事業継続計画作成の目的などは。

A 児童の安全確保を目的とする事項が国の定める運営基準に明確に位置づけられたことに伴い、安全計画の策定を義務化し、安全点検、児童・保護者への安全指導、実践的な訓練や研修の実施、再発防止の徹底などを実施することが求められています。また、事業継続計画については、計画作成・周知・必要な研修および訓練の定期的な実施、感染症および食中毒の予防および蔓延防止等のための研修や訓練の実施などに努めることなど目的達成の対応が求められているためです。

